

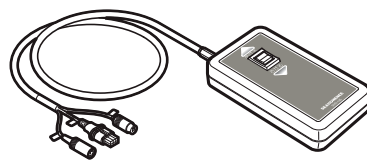
緊急時の背下げ操作（停電・故障時などの対応）

電動在宅介護ベッドCORE Neoは、背ボトムが上がっている状態で停電などの緊急時に背ボトムが下げられなくなった場合に手で背ボトムを下げるすることができます。

「背下げの方法」には、「セーフティハンドスイッチを使用する方法」と、セーフティハンドスイッチを使用しないで「手動での方法」の2つがあります。

Point

- セーフティハンドスイッチ（SHS-135）【別売】をご用意いただくことで、急な停電で電源が確保できない緊急時でも、安全にベッドを操作することができます。



- セーフティハンドスイッチを使用するとベッドの背ボトム「下げ」以外にも、膝ボトム「上げ・下げ」操作、ベッドの高さ「下げ」操作をおこなうことができます。

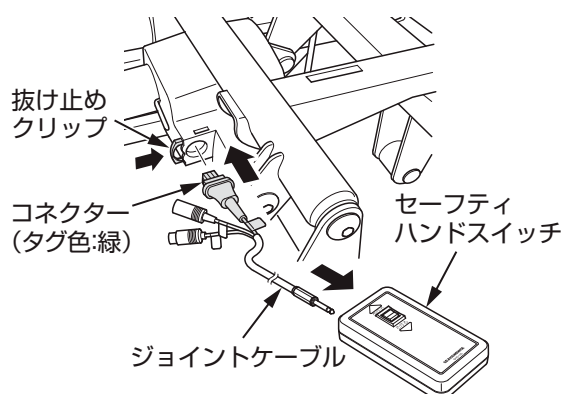
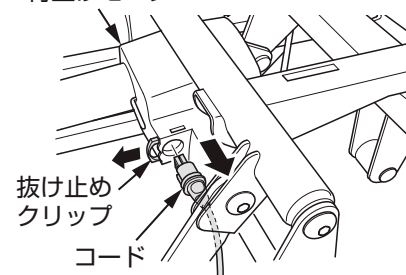
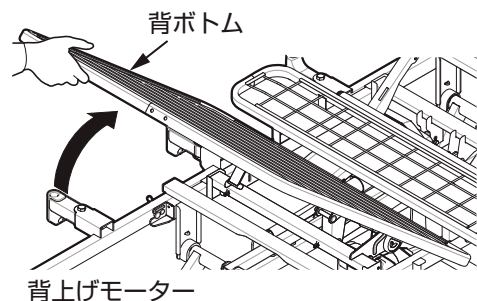
⚠ 注意

事故・破損・ケガの原因になります

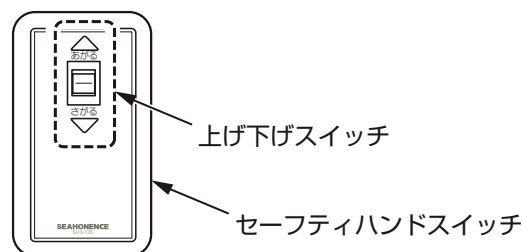
- ◆ベッドをご使用の方・寝具をベッドから降ろして作業をおこなってください。
- ◆背ボトムを手で支えて作業をおこなってください。
- ◆電力が回復するまで、電源プラグはコンセントから抜いてください。
- ◆スピードピンを外す際は、ラジオペンチやプライヤーを使用してください。

セーフティハンドスイッチ（SHS-135）【別売】を使用する方法について

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 作業をしやすくするため、ヘッドボードを取り外します。 **60ページ 参照**
3. 背ボトムを持ち上げます。
4. 背上げモーターからコードを抜きます。
・抜け止めクリップを外し、コードを引き抜きます。
5. 背上げモーターにジョイントケーブルのコネクター（タグ色：緑）を接続します。
6. ジョイントケーブルをセーフティハンドスイッチに接続します。



7. セーフティハンドスイッチの上げ下げスイッチを操作して背ボトムを一番下まで下げます。



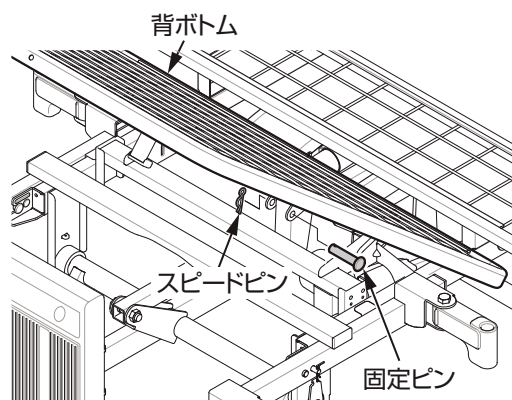
8. 背上げモーターからセーフティハンドスイッチのジョイントケーブルコネクタを抜き、手順4.で抜いたコードを接続します。
9. 背ボトムを手で支えながら降ろします。
10. ヘッドボードを取り付けます。▶ **35～36 ページ** 参照

手動での方法

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. ベッドをご使用の方にベッドから降りていただき、寝具をベッドから降ろします。
3. 作業をしやすくするため、ヘッドボードを取り外します。▶ **60 ページ** 参照
4. 背ボトムが落下しないように手で支えます。
5. 図の固定ピンとスピードピンを取り外します。

Point

- 外した固定ピン、スピードピンは、背ボトムを元に戻す際に使用します。紛失しないように保管してください。



6. 背ボトムを手で支えながら降ろします。
7. ヘッドボードを取り付け、寝具をベッドに戻します。
その後、ご使用の方にベッドへお戻りいただきます。▶ **35～36 ページ** 参照

もどしかた

電力が回復したら以下の手順でベッドをもとの状態に戻してください。

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. ベッドをご使用の方にベッドから降りていただき、寝具をベッドから降ろします。
3. 作業をしやすくするため、ヘッドボードを取り外します。▶ **60 ページ** 参照
4. 背ボトムを手で支えて上に上げます。
5. 固定ピンとスピードピンを取り付けます。
6. 背ボトムを手で支えながら降ろします。
7. ヘッドボードを取り付け、寝具をベッドに戻します。
8. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
その後、ご使用の方にベッドへお戻りいただきます。▶ **35～36 ページ** 参照